

## 研究指導教員の決定方法について

海洋システム工学分野 博士前期

### ■研究指導教員の役割

1. 研究指導教員は、学生の希望する研究課題、指導教員の専門分野、指導環境などを考慮し、研究指導を行う主たる教員である。
2. 研究指導教員は、研究指導に加え、学生の教育・研究に必要な授業科目について、シラバスと履修モデルを参考にして個々の学生の学習指導を行う。
3. 研究指導教員は、学生ごとに1名以上を決定する。

### ■研究指導教員の決定プロセス

#### <1：内部進学の場合>

1. 学士課程4年進級時または博士前期課程入学時に決定された研究指導教員が原則として継続して指導する。
2. 特段の理由があり、指導教員や配属研究室の変更を希望する学生については、関係各位と相談の上、指導教員や配属研究室を決定する。

#### <2：1以外の博士前期課程の場合>

##### 希望調査

志願者は、募集要項の担当教員表等をもとに、事前に希望する教員への研究室訪問や面談を行い、出願書類の志望理由書に「入学後の研究希望内容」を記載すること。

##### 研究指導教員の決定と通知

1. 入試時の面談及び出願書類の志望理由書に記載の「入学後の研究希望内容」をもとに分野教授会において研究指導教員を決定する。
2. 指導希望教員が受入できない場合、関連する研究分野の教員と学生が面談を行い、学生の希望を再度確認した上で研究指導教員を決定する。
3. 通常、入学手続き日までに指導教員を決定し、掲示板等により発表する。

### ■副指導教員制度

1. 副指導教員は、研究指導教員と協力して学生の研究や修学を補助する教員である。
2. 副指導教員は、上記に加え、研究指導教員の指導についての相談や調整を行う。
3. 副指導教員は、分野教授会において研究指導内容を考慮し、学生ごとに1名又は2名を決定する。

## ■研究指導計画

本分野における研究指導計画は、以下の1～5のとおりである。指導教員・副指導教員は学生の研究指導を行うにあたり、この研究指導計画を明示し、毎年度の初めに、学生の1年間の研究計画についての打合せを学生と十分に行った上で、以下に沿って、研究指導を行うものとする。学生の研究指導計画の詳細は、学生の研究計画を確認した上で作成し、明示する。

### 1. 研究計画の立案（1年次4月～5月）

- (1) 学生は、決定した研究課題に関して先行研究の整理、仮説の設定を行い、指導教員・副指導教員とともに研究計画を立案する。
- (2) 指導教員・副指導教員は、学生が研究計画を立案するに当たって、研究方法・文献検索方法・文献読解方法などを指導する。
- (3) 指導教員・副指導教員は、学生が記入し提出した研究指導計画書の研究計画に基づき、学生と十分相談の上で、課程修了までの研究指導計画を1年ごとに記載し、学生に明示する。
- (4) 指導教員・副指導教員は、研究指導計画書を研究科教授会に提出し、承認を得る。

### 2. 研究の遂行（1年次5月～2年次12月）

- (1) 学生は、研究計画に従って研究を遂行し、研究結果をまとめる。
- (2) 指導教員・副指導教員は、研究の進行を確認しつつ、実験・調査・計算等の手技の指導やデータ解析・評価の指導等を行い、研究結果をまとめさせる。
- (3) 指導教員・副指導教員は、必要に応じて、研究指導計画の見直しを行い、学生と十分相談の上で、毎年度の初め、研究指導計画を学生に明示する。
- (4) 指導教員・副指導教員及び研究科教授会は研究の進捗状況について、1年次の7～8月と12月の中間発表会、1月の研究概要ポスターおよび2年次の7～8月と12月の中間発表会にて確認し、研究の進捗状況に応じた指導を行う。

### 3. 研究経過の中間報告（1年次1月、2年次12月）

指導教員・副指導教員は、学生と相談の上で研究経過を研究指導報告書にまとめ、研究科教授会に報告する。

### 4. 修士論文の作成（2年次11月～1月）

- (1) 学生は2年次12月ごろまでの研究成果をもとに修士論文の作成を開始し、指導教員・副指導教員の指導のもとで修士論文をまとめる。
- (2) 指導教員・副指導教員は、修士論文の構成や図表の作成、文献の整理・引用等、論文のまとめ方を指導する。

### 5. 修士論文の提出（2年次1月末～3月）

- (1) 学生は査読用修士論文を指定した期日までに提出する。
- (2) 指導教員・副指導教員は、学位論文審査委員会終了後、研究指導報告書を研究科教授会に提出し、承認を得る。
- (3) 学生は修士論文(完成版)を指定した期日までに提出する。

下記は博士前期課程の学位授与までの標準的な流れを示したものである。学生は、研究指導教員・副研究指導教員と相談の上、各年次年度初めに研究指導計画書の研究計画を作成・提出して研究を進める。また年次末にその結果を研究指導教員・副研究指導教員と相談の上、研究指導報告書の研究実施報告を作成して提出する。なお、秋入学の場合は、半期ずれたスケジュールとなる。年限短縮等の場合はこの限りではない。

年次	時期	学生	大学・指導教員等
1年	4月～(通年)	修了要件科目の履修	指導教員による学習指導
	4月～5月	研究計画の立案	指導教員による研究指導
	5月	研究指導計画書（研究計画）の作成	指導教員・副指導教員による研究指導計画書（指導計画）の記入・提出 指導教員による研究指導
	7月～8月	中間発表会において中間報告・研究指導報告書（研究実施報告・中間）の作成	指導教員・副指導教員による評価・指導
	12月	中間発表会において中間報告・研究指導報告書（研究実施報告・中間）の作成	指導教員・副指導教員による評価・指導
	1月	研究概要ポスターの提出・研究指導報告書（研究実施報告・最終）の作成	指導教員・副指導教員による研究指導報告書（研究指導報告）の記入・提出 分野教授会による評価
2年	4月～(通年)	修了要件科目の履修	指導教員による学習指導
	4月～5月	研究計画の立案	指導教員による研究指導
	5月	研究指導計画書（研究計画）の作成	指導教員・副指導教員による研究指導計画書（指導計画）の記入・提出 指導教員による研究指導
	7月～8月	中間発表会において中間報告・研究指導報告書（研究実施報告・中間）の作成	指導教員・副指導教員による評価・指導
	12月	中間発表会において中間報告・研究指導報告書（研究実施報告・中間）の作成	指導教員・副指導教員による評価・指導
	1月		審査委員の決定
	1月	審査用修士論文の提出	審査委員による評価・指導
	2月上旬	学位授与申請書・修士論文要	

		旨の提出	
2月中旬		公聴会において研究発表	審査委員による評価
2月下旬			研究科教授会にて修了認定
3月中旬		修士論文（完成版）の提出・ 研究指導報告書（研究実施報告・最終）の作成	指導教員・副指導教員による研究指導報告書（研究指導報告）の記入・提出
3月下旬			学位記授与

## 研究指導教員の決定方法について

海洋システム工学分野 博士後期

### ■研究指導教員の役割

1. 研究指導教員は、学生の希望する研究課題、指導教員の専門分野、指導環境などを考慮し、研究指導を行う主たる教員である。
2. 研究指導教員は、研究指導に加え、学生の教育・研究に必要となる授業科目について、シラバスと履修モデルを参考にして個々の学生の学習指導を行う。
3. 研究指導教員は、学生ごとに1名以上を決定する。

### ■研究指導教員の決定プロセス

#### <1：内部進学の場合>

1. 博士前期課程入学時に決定された研究指導教員が原則として継続して指導する。
2. 特段の理由があり、指導教員や配属研究室の変更を希望する学生については、関係各位と相談の上、指導教員や配属研究室を決定する。

#### <2：1以外の博士後期課程の場合>

##### 希望調査

出願者は、募集要項の担当教員表等をもとに、事前に希望する教員への研究室訪問や面談を行い、出願書類の入学願書に「指導を希望する教員名」、志望理由書に「入学後の研究希望内容」を記載すること。

##### 研究指導教員の決定と通知

1. 入試時の面談及び出願書類の入学願書に記載の「指導を希望する教員名」および志望理由書に記載の「入学後の研究希望内容」をもとに分野教授会において研究指導教員を決定する。
2. 指導希望教員が受入できない場合、関連する研究分野の教員と学生が面談を行い、学生の希望を再度確認した上で研究指導教員を決定する。
3. 通常、入学手続き日までに指導教員を決定し、掲示板等により発表する。

### ■副指導教員制度

1. 副指導教員は、研究指導教員と協力して学生の研究や修学を補助する教員である。
2. 副指導教員は、上記に加え、研究指導教員の指導についての相談や調整を行う。
3. 副指導教員は、分野教授会において研究指導内容を考慮し、学生ごとに1名又は2名を決定する。

## ■研究指導計画

本分野における研究指導計画は、以下の1～5のとおりである。指導教員・副指導教員は学生の研究指導を行うにあたり、この研究指導計画を明示し、毎年度の初めに、学生の1年間の研究計画についての打合せを学生と十分に行った上で、以下に沿って、研究指導を行うものとする。学生の研究指導計画の詳細は、学生の研究計画を確認した上で作成し、明示する。

### 1. 研究計画の立案（1年次4月～5月）

- (1) 学生は、決定した研究課題に関して先行研究の整理、仮説の設定を行い、指導教員・副指導教員とともに研究計画を立案する。
- (2) 指導教員・副指導教員は、学生が研究計画を立案するに当たって、研究方法・文献検索方法・文献読解方法などを指導する。
- (3) 指導教員・副指導教員は、学生が記入し提出した研究指導計画書の研究計画に基づき、学生と十分相談の上で、課程修了までの研究指導計画を1年ごとに記載し、学生に明示する。
- (4) 指導教員・副指導教員は、研究指導計画書を研究科教授会に提出し、承認を得る。

### 2. 研究の遂行（1年次5月～3年次12月）

- (1) 学生は、研究計画に従って研究を遂行し、研究結果をまとめる。
- (2) 指導教員・副指導教員は、研究の進行を確認しつつ、実験・調査・計算等の手技の指導やデータ解析・評価の指導等を行い、研究結果をまとめさせる。
- (3) 指導教員・副指導教員は、必要に応じて、研究指導計画の見直しを行い、学生と十分相談の上で、毎年度の初め、研究指導計画を学生に明示する。
- (4) 指導教員・副指導教員及び研究科教授会は研究の進捗状況について、1年次から3年次の7～8月と12月の中間発表会、1年次、2年次末の年度末報告会にて確認し、研究の進捗状況に応じた指導を行う。

### 3. 研究経過の中間報告（1年次3月、2年次3月）

指導教員・副指導教員は、学生と相談の上で研究経過を研究指導報告書にまとめ、研究科教授会に報告する。

### 4. 博士論文の作成（3年次10月～1月）

- (1) 学生は研究成果をもとに博士論文の作成を開始し、指導教員・副指導教員の指導のもとで博士論文をまとめる。
- (2) 指導教員・副指導教員は、博士論文の構成や図表の作成、文献の整理・引用等、論文のまとめ方を指導する。
- (3) 学生は、予備審査で、主査予定教員と副査予定教員から博士論文内容の評価を受け、指摘事項を修正する。

### 5. 博士論文の提出（3年次12月～3月）

- (1) 学生は博士論文(審査用)を指定した期日までに提出する。
- (2) 学生は、工学研究科教授会（運営委員会）で設置された学位論文審査委員会の

主査教員と副査教員が出席する公聴会において博士論文内容を報告する。

- (3) 指導教員・副指導教員は、学位論文審査委員会終了後、研究指導報告書を研究科教授会に提出し、承認を得る。
- (4) 学生は博士論文(完成版)を指定した期日までに提出する。

下記は博士後期課程の学位授与までの標準的な流れを示したものである。学生は、研究指導教員・副研究指導教員と相談の上、各年次年度初めに研究指導計画書の研究計画を作成・提出して研究を進める。また年次末にその結果を研究指導教員・副研究指導教員と相談の上、研究指導報告書の研究実施報告を作成して提出する。なお、秋入学の場合は、半期ずれたスケジュールとなる。年限短縮等の場合はこの限りではない。

年次	時期	学生	大学・指導教員等
1年	4月～(通年)	修了要件科目の履修	指導教員による学習指導
	4月～5月	研究計画の立案	指導教員による研究指導
	5月	研究指導計画書(研究計画)の作成	指導教員・副指導教員による研究指導計画書(指導計画)の記入・提出 指導教員による指導研究指導
	7～8月	中間発表会において中間報告・研究指導報告書(研究実施報告・中間)の作成	指導教員・副指導教員による評価・指導
	12月	中間発表会において中間報告・研究指導報告書(研究実施報告・中間)の作成	指導教員・副指導教員による評価・指導
	3月	年度末報告会・研究指導報告書(研究実施報告・最終)の作成	指導教員・副指導教員による研究指導報告書(研究指導報告)の記入・提出 分野教授会による評価
2年	4月～(通年)	修了要件科目の履修	指導教員による学習指導
	4月～5月	研究計画の立案	指導教員による研究指導
	5月	研究指導計画書(研究計画)の作成	指導教員・副指導教員による研究指導計画書(指導計画)の記入・提出 指導教員による指導研究指導
	7～8月	中間発表会において中間報告・研究指導報告書(研究実施報告・中間)の作成	指導教員・副指導教員による評価・指導
	12月	中間発表会において中間報告・	指導教員・副指導教員による評価・

		研究指導報告書（研究実施報告・中間）の作成	指導
	3月	年度末報告会・研究指導報告書（研究実施報告・最終）の作成	指導教員・副指導教員による研究指導報告書（研究指導報告）の記入・提出 分野教授会による評価
3年	4月～(通年)	修了要件科目の履修	指導教員による学習指導
	4月～5月	研究計画の立案	指導教員による研究指導
	5月	研究指導計画書（研究計画）の作成	指導教員・副指導教員による研究指導計画書（指導計画）の記入・提出 指導教員による指導研究指導
	7～8月	中間発表会において中間報告・研究指導報告書（研究実施報告・中間）の作成	指導教員・副指導教員による評価・指導
	12月	中間発表会において中間報告・研究指導報告書（研究実施報告・中間）の作成	指導教員・副指導教員による評価・指導
	12月		審査委員の決定
	1月	審査用博士論文の提出	審査委員による評価・指導
	1月下旬	学位授与申請書・博士論文要旨の提出	
	2月中旬	公聴会において研究発表	審査委員による評価
	2月下旬		研究科教授会にて修了認定
	3月上旬	博士論文（完成版）提出 研究指導報告書（研究実施報告・最終）の作成	指導教員・副指導教員による研究指導報告書（研究指導報告）の記入・提出
	3月下旬		学位記授与